

土曜あそび塾 自然が豊かな村田川

ゴールデンウィーク中の5月2日、陽射しもまぶしく前日よりも気温も高くなりました。越智小学校前に集まり、それぞれ家から持ってきたバケツや網をもって村田川の源流を目指して出発しました。子ども14名、家族参加3名、一般5名、スタッフ2名の参加となりました

アドバイザーにちば環境情報センターの小西さん、田中さんに一緒に歩いて植物や生き物の名前など教えていただきました。

てんとう虫見つけた

道路を歩いていくと、道端の草むらに、Kちゃんがてんとう虫を見つけて教えてくれました。アドバイザーのお2人が次々と見つけて手に取って、葉っぱの上にてんとう虫の卵、幼虫、成虫と「てんとう虫がいると、近くにはエサとなるアブラムシもいる」と草の茎にびっしりついているのを見せてくれ、いつも見る赤い斑点のてんとう虫になるまでの成長過程と植物や他の虫など自然との繋がりを間近で見ることができました。てんとう虫の幼虫などを知っている子も何人もいて、頼もしく感じました。



形は一緒だけど植物の葉っぱの大きさに名前も違う

カラスノエンドウはよく聞きますが、同じような植物が3つあることを知っていますか？葉っぱが一番細いものがスズメノエンドウ。2つの間の大きさのものがカスマノエンドウと三つを並べて見せてくれ、名前も2つからとっていることや葉っぱの大きさの違いがわかりました。私も初めて知りましたが、子ども達も熱心に聞いて手に取って見ていました。植物だけでなく大きさをあらわすのに鳥の名前がよく使われるそうです。アドバイザーの田中さんが、カラスノエンドウの実の中の種を取って口にはさんで笛を吹くようにすると音がぶーぶーと出て、子どもたちも「どうやるの？」と聞いて自分でも作って挑戦していました。



草のロケット飛ばかな

笹のような葉っぱを切って、草ロケットの作り方を田中さんに教えてもらいました。聞いていると簡単にできると思いましたが、これが中々うまく上に飛んで



くれません。今回初めて参加のR君は何度も作って上に飛ばず落ちたり、ひっぱった方が取れなかったりしましたが、何度も作り、やっと上に飛んだ時には、満面の笑みで嬉しそうでした。



田んぼと田んぼの間の用水路は生き物の宝庫

やっと村田川源流?!に着いて水がたまっている所に網を水の中に入れて、生き物を探し始めました。Tくんは水の中に網を入れてすくうと泥が入って重くなり、網から泥を出すのに大変苦労していました。中々捕まえられなく何度も田中さんに「どこにいるの?一緒に捕まえて」と言っていました。メダカやザリガニなど捕まえて、Kaちゃんは近くで見っていました。Mくんはもう少し居たいと後ろ髪をひかれるようでした。田中さんが透明な入れ物に生き物を入れて見せてくれたり、卵を顕微鏡で見せてくれたりしました。

アドバイザーの方のお話で植物や生き物の名前や生態を知り、何気なく生えている植物にもおもしろい名前があることを知りました。植物や生き物に目を見て、ふれて名前を知り、子ども達の生き生きとした姿が見られました。自然とふれあいながら身近な所から大切さを知ってほしいと思いました。(記 大塚)

